



サン・レモだより



令和5年度 後期号



医療法人 心々和会 サン・レモリハビリ病院 広報部

佐世保市江上町4848-1 ☎ (0956) 58-5900

[http:// kokowakai.or.jp/sanremo/](http://kokowakai.or.jp/sanremo/)

令和六年 新年のご挨拶



理事長 浅井 貞宏

令和六年、新年明けましておめでとうございます。
皆様澆刺と新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

令和五年の夏は歴史に残る猛暑でした。コロナ予防の為にマスク着用もあり大変でした。職員の皆様にはコロナ対策本当にお疲れ様でした。秋にはサン・レモ リハビリ病院設立30周年を祝う事が出来ました。記念すべき年となりました。この30年間、本当に多くの方の努力が積み重ねられています。感謝です。

関連して10月28日(土)17:25~17:30 KTN(テレビ長崎)の番組「ichiban~長崎の元気企業~」でサン・レモ リハビリ病院が取り上げられ放映されました。

それに先立ち10月19日(木)の10時から約半日の予定で本院の取材・撮影がありました。皆様のご協力ありがとうございました。

ところで、昨年4月21日には現佐世保市長の宮島 大典氏が佐世保国際通り病院を訪問されました。

また10月5日には衆議院議員補欠選挙での金子 容三氏を応援するため、田村 憲久元厚生労働大臣が長崎県医師会会長の森崎 正幸会長の案内で佐世保国際通り病院に挨拶に来られました。

田村氏には今後日本の高齢化で増々重要となる医療・介護への応援を伝えておきました。さて、2024年度の診療報酬改定は6年に1回の「トリプル改定」となります。

診療報酬・介護報酬と障害福祉サービス等報酬の同時改定です。

中医協診療側の井端 幸彦委員(日本慢性期医療協会副会長)は、2024年度トリプル改定に向け、「療養病床」の概念から脱却し、慢性期治療を含めた「慢性期病床」の概念を確立させたいとの意思を示しました。「医療区分」の根本的見直しの必要性にも言及しています。改定に注目しましょう。

それでは新しい年が患者さんをはじめ法人・両病院に関係する皆様にとって輝かしい年になりますよう皆で努力いたしましょう。



皆様のおかげでサンレモリハビリ病院は
昨年創立三十周年を迎える事が出来ました。
皆様、ありがとうございました。

面会制限緩和されました

2023年7月より、直接面会ができるようになりました。患者さんやご家族の方の笑顔を見ることができ、私たちスタッフ一同も嬉しく感じております。



面会について

平日の14時～16時(予約制) 面会時間は10分以内2名まで(18歳以上)

面会予約方法

平日の14時～17時に電話にて予約をお願いします。

※1日の面会人数に限りもございますので、月に1回程度の申込みをお願いします。

面会可能日

月曜日：A病棟 火曜日：4病棟 水曜日：5病棟 木曜日：B病棟 金曜日：3病棟

「全介助の方でも移乗シートで楽な離床方法」

移乗シートを使用したベッド～リクライニング式車イス間の移乗方法について勉強会がありました。移乗シートを使用することで、介助者の体への負担を軽減できるとともに全介助や大柄な患者様の離床時間拡大を図ることができます。

移乗方法の手順

1

セッ
テイ
ング



リクライニング式車イスをフラットにし、ベッドと平行に配置する。

2

敷
き
込
み



患者様の体を傾け、移乗シートを患者様の下に敷き込む。

3

ス
ラ
イ
ド



患者様を車イスへスライドする。

4

調
整



移乗シートを抜き取り、車イスの角度を調整。

勉強会後の感想



勉強会后、5階病棟ではベッド～ストレッチャー間の移乗は全員移乗シートを使用する!と決め業務に従事していますが、新式のリクライニング車イスでは移乗シートが使用できない為、新式のリクライニング車イスでも移乗が楽に腰に負担なくできる方法を教えて頂きたいものです。



今回の勉強会でノーリフトケアの必要性和目的を理解でき、これまでの持ち上げ・抱き上げ・引きずりといった介助の仕方を見直すことができました。勉強会に参加したスタッフからは楽にできる介助法に驚きの声が聞かれていました。患者様が安心して介助されることができるよう、勉強会後は移乗シートを積極的に利用しています。

一次救命処置（心肺蘇生とAED）講習会

～広げよう救命の輪～

東消防署の消防隊の方々に来て頂き、一次救命処置の講習会をして頂きました。

私達市民に出来ること、それは病気や事故で急変した人にいち早く気づき、**救急車を要請すること**です。

119番通報から、救急車が現場に到着するまでに**平均8.9分**ほどかかるとのことですが、救急隊を待つ間に一次救命処置を行うことで**救命効果が高まる重要なカギ**になります。心肺蘇生法とAEDの使用手順を教えてくださいました。

心肺蘇生法とAEDの使用手順

- ① **安全確認** (周りに危険なものはないか)
- ② **傷病者の発見 反応の(意識)の確認**
反応なし・判断に迷う場合
- ③ **大声で助けを呼ぶ 119番通報とAEDの手配**
- ④ **呼吸の有無を確認**
正常な呼吸(普段どおりの呼吸)していない
・判断に迷う場合
- ⑤ **胸骨圧迫を開始**
強く(成人は約5cm、小児は胸の約1/3の深さで)
早く(1分間に100~120回のテンポで)
絶え間なく(押したらしっかりと胸を元に戻す)



- ⑥ **AED装着** 電源を入れる パットを正しく貼る
- ⑦ **心電図の解析** 電気ショックは必要か?
必要あり→⑧ **電気ショック**
⑨ **ショック後直ちに胸骨圧迫**
必要なし→⑧ **直ちに胸骨圧迫**

※救急隊に引き継ぐまで⑦~⑨を繰り返す

パットを装着している間も、
一人は手を止めず胸骨圧迫!!

一般市民、そして医療従事者として
改めて大切な救命処置だと学びました!!

**私たちの勇気で大切な命の
リレーをスタートさせましょう!!**

参考資料: 佐世保市消防局



腕を伸ばして両手を重ねる!



※ほかに手伝ってくれる人がいる
場合は、1~2分を目安に交代
する

通所リハビリ～敬老会～



令和5年9月16日に約4年ぶりとなる敬老会が開催されました!!

その様子をご紹介します♪



吉良院長に開催の挨拶をしていただきました。
今年の敬老会は「敬老大運動会」というテーマで利用者の方
32名が参加され「かえる」「きりん」「ぞう」「うさぎ」の
4チームに分かれスタートしました☆



いちに
さんし

準備体操♪



玉入れ

はいれ～



風船仰ぎリレー



急げ!!
急げ!!

ボールリレー



釣れる
かな～

魚釣り



利用者の皆さんも
チーム一丸となり
とても大盛り上がり
でした☆☆☆☆☆



通所スタッフによる出し物は「マツケンサンバ」のダンスで長寿のお祝いをしました☆



表彰式では、オリジナルのメダルを贈呈し今年の敬老会は幕を閉じました♪



みなんでお弁当を美味しく頂きました♪



看護部長よりご挨拶



通いなれた通勤途中の風景や病院とも1月でお別れになります。患者様の笑顔に元気をもらい、そして理事長・院長・医局の先生方や事務長はじめ多くの職員の皆さんに助けられての私でした。感謝しかありません。長い間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

サン・レモリハビリ病院
看護部長 森 節子



省エネ対策に取り組んでいます



サン・レモリハビリ病院は節電対策として、冷房の温度管理を重視し、棟内で一番日光が当たる5階病棟に、5月19日遮光フィルム施工を実施しました。



フィルムも部屋暗くならないよう、良い素材を工夫し使用しています。

比較として、使用電力(Kwh)を昨年と今年の『7月・8月』気温が上がる時期を対象に調べてみました。冬にも冷気を入れず、部屋の温度を保つ効果が期待されます。

フィルム施工後の電気使用(Kwh)の比較

	R4年度	R5年度		
	使用電力(Kwh)	使用電力(Kwh)	差(Kwh)	年度比
7月	158,014	143,102	-14,912	9%
8月	170,524	164,730	-5,794	3%

昼間使用電力(Kwh)の比較

	R4年度	R5年度		
	使用電力(Kwh)	使用電力(Kwh)	差(Kwh)	年度比
7月	111,156	99,384	-11,772	12%
8月	119,022	115,500	-3,522	3%

結果

- 前年度より使用電力7月が9%減、8月が3%減
- 昼間の使用電力も7月12%減、8月が3%減につながりました。



以前より景色が良く見えるようになりましたね♪

編集後記

3年以上もの間、私達の行動を制限してきた新型コロナウイルスも2023年5月8日、5類へ移行され、それに先だって、マスクの着用が個人の判断に委ねられるようになるなど、ようやく今までの日常が戻りつつあるように思います。引き続き必要な感染対策を図りながら、健やかに春を迎えましょう。

(広報スタッフ一同) 令和5年度 後期号 通算30冊目